第２章

図書館の利用

1.なぜ図書館利用をすすめるか？

みなさんの中には、図書館利用の必要性を感じず、図書館を利用したことが一度もないと言う方もいると思います。実際インターネットで資料検索が済んでしまうことも多くあります。また、テレビやラジオ等のメディアで日常の情報を知ることも可能です。

しかし、インターネットやテレビ・ラジオなどで得られる情報は世の中にある情報の一部分にすぎず、中には信憑性にかけるものもあります。また、インターネットなどの情報は新しいものは得意ですが、古いものは苦手です。

図書館では、図書や雑誌・新聞・紀要類などの資料を所蔵しています。そこで、それらの資料とインターネット情報を比べることもでき、新しいものだけでなく古いものも得ることができます。

また、情報を得るだけではなく、本を読むという楽しみもぜひ知ってほしいと思っています。もしかしたら、これから出会う本があなたの人生を変える１冊になるかもしれません。

2.図書館の使い方

○　時間つぶし編

県立大学図書館では、新刊雑誌（AERA・キネマ旬報など）や新聞（地方紙から英字新聞）、絵本や話題になっている本もあります。ビデオやDVD（授業に関するものから名作映画まで）もあります。のんびりできるソファーもところどころにあります。ぶらーっとのぞいて見て下さい。

○　なにか読みたい編

ここのところ、心が渇いていると感じているあなた。また、暇で暇でしょうがないあなた。良い本をお勧めいたします。図書館職員にご相談ください。なお、感動したあの本をふたたび読みたいと思っている方、当館になくても他の図書館の本も検索できます。

○　レポート作成編

レポートの書き方の本や先生方が勧める授業参考図書も所蔵しています。また、どんな資料を調べたらよいかなどの質問にもお答えいたします。資料名や分野が具体的に分かるものがあったらぜひお持ち下さい。

○　自分で探したい編

図書館内にある蔵書検索用のパソコンあるいは、インターネットで図書館の蔵書が検索できます。館外のインターネットで検索したい場合は、山梨県立大学のホームページから図書館のページ「蔵書検索」で探してください。

また、池田キャンパスにある県立大学看護図書館も利用できます。

＊山梨県立大学ホームページのアドレス

URL:http://yamanashi-ken.ac.jp/

○　卒業論文やちょっと込み入った文献探し編

文献探しには、ちょっとしたテクニックが必要です。

図書や論文の参考文献欄、文献目録などを参考にしたり、各種データベースや他の図書館の所蔵調査などを行い検索します。慣れてしまえば、図書館職員でなくても充分検索できます。そんなこつをお教えします。

3.図書館の話あれこれ

さて、なんとなく図書館の使い方が分ったでしょうか?
次は知っておくと便利なあれこれを書いてみたいと思います。

○ 図書館ではどんな相談ができるの?

図書館司書の仕事にレファレンス(参考業務)という仕事があります。これは図書館利用者の相談にお答えするという仕事です。

たとえば、

- 著作者などの経歴を調べたい。
- 資格が取りたいが資格に関係する図書はあるか。
- 子どもの出生率の過去 10 年間の統計データを調べたい。
- 他の図書館へコピーを依頼したい。

など気軽に声をかけてください。

○ 図書ラベルの番号はなに?

図書館では、資料を一定のグループ分けをし、書架に並べます。これを分類といい図書ラベルで表しています。

この見方が分ると図書が簡単に探せます。

県立大学図書館では「日本十進分類法」を使用しています。この「日本十進分類法」は日本の多くの図書館が使用している方法なので、自分がよく使う図書の分類番号(図書館では請求記号などとも言います。)を覚えておくと便利です。

〈図書ラベルの見方〉

３２０
0ta
1

上段　320　分類番号ー資料の分野
中段　0ta　著者記号ー図書の著者や題名の頭文字
下段　1　シリーズ図書などの巻数

○図書館ホームページの利用方法

大学図書館や公共図書館のほとんどがホームページを作成しています。ホームページではその図書館の蔵書検索の他に利用方法やイベント情報などが掲載されています。その他データベースが利用できたり、便利な検索サイトが掲載されていることもあります。ぜひ、利用してみてください。

○著作権法のはなし

皆さんが普段何の気なしにしているコピーですが、これには著作権法という法律が大いに関係しています。

著作権法とは図書や雑誌、視聴覚資料などの著作権（創作した人の権利）および隣接する権利を持っている人を保護する目的にあります。

図書館では、資料のコピーや貸出を行うときにこの法律の権利制限内で行っていますので、コピーや貸出が出来ない場合もあります。

4.図書館はいろいろある

みなさんは、図書館はどこへ行っても同じだと思ってはいないでしょうか？

図書館では、利用する人に合わせた資料を集めているので、探している資料により図書館を使い分けるとより効果的に探せます。

ここではいろいろな図書館の違いを簡単に紹介します。

○大学図書館

大学の学部や学科に沿った専門的な資料を集めています。

山梨県内の大学では、山梨大学を中心とした横断検索システムで図書や雑誌などの蔵書検索や図書館の情報をインターネットで検索することができます。

＊横断検索システム

URL:http://opac.lib.yamanashi.ac.jp/mutual/mutual.html

また、全国の大学図書館の情報については、国立情報学研究所が提供しているデータベースサービスのポータルサイト GeNii から図書目録(Webcat, Webcat Plus)や論文情報ナビゲーター (CiNii) などが利用できます。本学学内からは CiNii の一部定額有料メニューが無料で利用することができます。これについては学内ネットワークに個人のパソコンを接続した場合でも利用できます。

＊ GeNii

URL: http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp

○市町村立図書館

市町村民が興味を持ちそうな事柄に合わせ、広く浅く集めています。How to 本や読物が多くあります。

山梨県内の市町村図書館では、ほとんどが市町村外の住民にも閲覧利用や貸出を認めています。

○県立・都立図書館

市町村立図書館と似ていますが、蔵書数も多く、より専門的なものも多くあります。また、郷土資料類を多く所蔵しています。

山梨県の公共図書館（市町村および県立図書館）の蔵書検索などの情報は下記を参考にしてください。県内の公共図書館内の図書は無料で相互の貸借ができます。

＊山梨県図書館情報ネットワークシステム

URL:http://www.lib.pref.yamanashi.jp/tosyokan/kennet/index.html

○専門図書館

各研究所の附属施設としてある図書館。研究分野の専門的な資料が多く

あります。貸出ができないところが多いので確かめてから行くとよいと思います。

山梨県内では、文学館や環境科学研究所、博物館など。

なお、全国の専門図書館を調べたい場合には、専門図書館協議会のホームページを参考にすると良いです。

＊専門図書館協議会ホームページ

URL:http://www.jsla.or.jp/

○国立国会図書館

納本制度（日本で出版されたものは国立国会図書館に収める制度）により日本で出版された非常に多くの資料（図書、新聞・雑誌、古文書、電子資料など）があります。

また、ホームページも充実しており図書の検索のほかに雑誌の記事索引や電子図書、日本法令索引などの検索ページもあります。

＊国立国会図書館ホームページ

URL:http://www.ndl.go.jp/

参考文献

図書館についてもっと知りたい方は下記の文献を参考にしてください。なお、県立大学図書館にも入っています。

大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本―学生のための図書館活用法』　日本図書館協会　(2005)

川崎良孝編『大学生と「情報の活用」―情報探索入門』　日本図書館協会　(1999)

井上真琴『図書館に訊け！』　筑摩書房　(2004)

千野信浩『図書館を使い倒す！』　新潮社　(2005)

チェックシート

次に図書館利用に向く調べものとインターネット検索で調べた方が良いものとをそれぞれ上げてあります。

チェックしながら、図書館やインターネットを上手に使い分け、効率よく利用しましょう。

○図書館利用をおすすめ

□　話題の本や暇つぶしに本を読みたい。
□　図書や論文そのものの内容が知りたい。
□　新しい情報だけでなく古い情報も知りたい。
□　キーワードになる言葉だけでなく周辺の資料も欲しい。
□　他の図書館の資料のコピーを手に入れたい。

○インターネット検索をおすすめ

□　最新情報をすぐに手に入れたい。
□　求めている資料の所蔵図書館や研究機関を知りたい。
□　論文がどの雑誌に載っているか知りたい。
□　本を買いたいが、現在購入できるかどうか知りたい。

